

第 2 回瑞浪市総合計画審議会 会 議 録

日時：令和 4 年 6 月 24 日（金）13:30～14:30

場所：瑞浪市役所本庁舎 4 階全員協議室

次 第

1. 会長あいさつ

2. 議 事

(1) 第 1 回瑞浪市総合計画審議会会議録について 資料 1

(2) 第 6 次総合計画の進捗状況の評価方法について 資料 2-1～資料 2-3

(3) 策定キャンペーンロゴの見直しについて 資料 3

(4) ビジョンブックの作成について 資料 4

3. その他

出 席 者

出席委員

鈴木圭子 委員 大山理晴 委員 小島博和 委員 渡辺隆夫 委員 水野勝人 委員
勝股清治 委員 安藤八重子 委員 福永泰子 委員 中山千鶴 委員 小池 誠 委員
林 一子 委員 萩尾英明 委員 稲垣昌克 委員 土屋誠治 委員 古田成志 委員
大宮康一 委員 森島嘉人 委員 東恵理子 委員 玉川幸枝 委員

[名簿順]

欠席委員

山口富子 委員 井貝順子 委員 熊澤清和 委員 威知謙豪 委員 小木曾めぐみ 委員

[名簿順]

【瑞浪市】

瑞浪市理事兼総務部長 正村 和英

【事務局】

加藤 昇 (企画政策課長)

津田 良介 (企画政策課企画政策係長)

三浦 啓輔 (企画政策課企画政策係)

【第 7 次瑞浪市総合計画策定業務委託事業者】

本間 裕之 (株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所)

1. 会長あいさつ

【会 長】

こんにちは。第 1 回に続いて第 2 回の会長を務める岐阜大学の宮大である。体調管理とともに、水分補給をしつつお体に気をつけて会議を進められればと思う。冒頭に先立ち、玉川委員からご要望をいただき、本日お子さんをお連れして会場に来られている。瑞浪市総合計画審議会会議運営規程第 9 条に基づき入場を認めるということでお心遣い、配慮をお願いしたい。

第 1 回目は審議会の進め方、市民の皆様、企業の皆様と参加するイベントの紹介を含めた全体のスケジュールについて確認した。第 2 回目については具体的な評価方法やビジョンブックの説明をいただきながら皆様のご意見を伺いたい。多様な立場の方に来ていただいております。わからない用語等については質問いただければ、私あるいは事務局で対応させていただきます。どうぞよろしく願います。

2. 議 事

【事務局】

以後の進行を宮大会長に願います。

【会 長】

議事に入らせていただく。

(1) 第 1 回瑞浪市総合計画審議会会議録について事務局より説明を願います。

(1) 第 1 回瑞浪市総合計画審議会会議録について

【事務局】

資料 1 4 月 28 日開催の第 1 回瑞浪市総合計画審議会会議録の案である。委員の皆様の承認後、市ホームページで公表する。挨拶等議事に直接関わりのない部分については簡略化して記載している。また発言された委員のお名前は記載せず委員と表記している。ご確認を願います。

【会 長】

第 1 回審議会議事録になるが確認いただき、ご自身の発言等にご意見、ご質問があれば願います。

【会 長】

ご異論、ご意見等なければこの議事録で確定する。先程の説明にあったように、この形で公表ということによろしいか。ホームページに掲載する。

では(2)第 6 次総合計画の進捗状況の評価方法について事務局より説明を願います。

(2) 第 6 次総合計画の進捗状況の評価方法について

【事務局】

資料 2-1 第 7 次瑞浪市総合計画の策定にあたり、第 6 次瑞浪市総合計画の評価・検証は欠かせないものである。その評価・検証を着実に反映させるため、第 6 次瑞浪市総合計画の 9 年目にあたる今年度に平成 26 年度から令和 3 年度までにおける各施策の進捗評価を行うこととする。進捗状況評価については、各施策の担当課にて 8 年間で振り返り、評価してもらうことをベースとし、併せて毎年実施している市民アンケートから得られる市政満足度などの数値を包括的に捉えることでまとめていきたいと考えている。

資料 2-2 具体的なイメージを説明する。左側が第 6 次瑞浪市総合計画に掲げている施策のページとなり、各まちづくり分野における現状・課題、めざす姿、施策の内容と主要事業が記載されている。このページに記載されている事項を評価・検証し、第 7 次瑞浪市総合計画に活かしていくことが重要となり、それを右側のシートに各担当課に記載してもらう流れになる。

右側のシートについては、次のページに A 3 にしたものを付けているのでご確認をお願いする。各担当課にはこのシートにて第 6 次瑞浪市総合計画に掲げる取組の 8 年間で振り返った結果を記載してもらう。

スケジュールについては、資料 2-1 ②に載せている図のとおりである。本日の総合計画審議会でのご意見等を踏まえ、各課に提出を促しヒアリングを経て、8 月中旬には取りまとめを予定している。

資料 2-3 最終的に、各課の記載シートの取りまとめ方法について説明する。進捗状況評価の考え方は、第 6 次瑞浪市総合計画期間内における統一性を図る観点から、平成 29 年度に実施した後期基本計画策定に向けた中間評価の方法を踏襲する形を基本と考えている。

まず、第 6 次瑞浪市総合計画では人口・世帯の目標について、令和 5 年度の目標人口を 40,000 人、世帯目標を 15,900 世帯と掲げていることから、現時点での数値を推移とともに示す。同様にまちづくり指標である「住みよさ指標」「定住指標」「市政満足度指標」についても、その目標に対する現時点での率を示す。

評価の仕方については、「基本方針別評価」と「施策別進捗状況評価」の 2 段階で評価する。「基本方針別評価」では、定量的評価と定性的評価により行う。第 6 次瑞浪市総合計画では、基本方針が 6 つあるがその方針ごとに施策が複数あるので、その施策を 1 つ 1 つ評価し、その平均点をその方針の評価点とする。「施策別進捗状況評価」は、指標の達成度評価と総合計画で位置づけた主要事業の進捗状況評価から構成されている。各施策の指標それぞれについて、第 6 次瑞浪市総合計画開始前の基準値から令和 5 年度までの目標値までの伸びに対する、基準値から最新値までの伸び率を算出し、その率に応じて 4 段階で評価する。

事業の進捗状況評価では、第 6 次瑞浪市総合計画に位置づけた主要事業について、「達成、順調、着手、未着手」の 4 段階で評価し、進捗状況について文章でも記載する。いずれも計画期間 10 年のうち平成 26 年度から令和 3 年度までの 8 年分の進捗状況評価であることから、80%の進捗率が順調であるという一定の基準を設け、その他の区分の評価基準を設定し

ている。

「基本方針別評価」では、最終的な評価後の記載イメージを示している。全体まとめとして基本方針別に算出された評価点から、方針ごとに文章で総評する。基本方針ごとの評価点を表にして記載し、それぞれの方針ごとの各施策の評価点を表にしている。

「施策別進捗状況評価」では、当初に設定した指標の達成度、主な事業の進捗状況を先ほど説明した基準に応じて、評価結果を視覚的に分かりやすく記載していく。

以上、説明とさせていただきます。

【会 長】

ただいまの説明に対し質問はあるか。

【委 員】

10 年間の施策評価の中で、コロナ禍の期間をどのように評価に反映していくのか。

【事務局】

実際、計画当初はコロナ禍を想定していない数値目標を設定している。2～3年コロナ禍ということで数値が下回っている現状はある。施策によってはコロナ禍が原因ではなく、他の影響があるものもあり、基準を定めるのが難しい。そのためコロナ禍であっても現状の数値をそのまま示し、定性的評価の部分で文章により示していきたいと考えている。

【委 員】

教育の現場では、学習指導要領の改訂やタブレットを使う授業が進んだり、コロナのタイミングや世界的不況や戦争などもあり、学校の先生方が苦慮されているという話もよく聞く。こういう評価もコロナ禍によるものであるとわかるような表記にしてもらおうと保護者に説明する際の参考となるのでよろしくお願ひしたい。

【会 長】

数値的な目標としては、コロナ前の数値がコロナを差し引いた際の数値としていいのではないか。コロナが始まった後の数値に関して、取組や参加者数が数値となる場合、減ることはやむを得ない。評価にない取組を盛り込むと総合的な評価が得やすくなると思う。コロナを差し引いてどう評価を読み取るか、読み手側にも伝わる形が一番いいと思われる。

【委 員】

質問よりは要望になる。定性的評価が文章になるとの話であったが、行政改革に携わる時に、文章の表現の仕方、記述量の濃淡があり、結果に至った理由や現状について具体的に示しているところもあれば、「実施した」とだけの記載のところもある。定量的結果は数字で判断できるが、定性的な部分は可能な範囲で具体的にある程度の量を書いていただければ

評価しやすいと思う。検討をお願いします。

【事務局】

担当によって評価文面の書き方について個性や濃淡が出てしまうため、事務局が中心となり提出後にヒアリングを行うことを考えている。ヒアリングの中で文章の統一性を調整したいと思う。

【会 長】

「定性的評価」「定量的評価」の用語確認であるが、「定量的」は 100 人の参加目標に対して何人参集まったかということ、「定性的」は例えば元気になった、喜んだなど数値では表すことができないことになるかと思う。元気になる度合いも数値化できれば定量的にもなり得るが、状態をどう表すかが「定性的評価」ということである。たくさん書いてある取組が良かったのか、文章量により左右されることないよう事務局から担当部局にヒアリングの上記述をチェックいただく流れになるかと思う。

他にいかがか。

【委 員】

追加要望になるが、未着手の理由とそれに対してどうアプローチをしているか、未来に向かった取組の進捗だけではなく対策についても明記してもらいたい。サンプルが順調、達成だけ評価のため、未着手の理由の書き方も注意していただきたい。

【事務局】

未着手の原因についてもヒアリングで確認し、明記する。

【会 長】

次期計画における今後の方向、理由の中で進捗状況の説明、未着手の理由が書かれると思う。しっかりと記述いただけるよう各部署で取り組んでいただきたい。

【事務局】

事務局から補足説明であるが、総合計画期間が 10 年ということで、ほとんどのものが 10 年間で評価されることになるが、令和 3 年度までの 8 年間の評価をすると説明させてもらった。後期基本計画ということで 5 年ごとに見直しをかけているが、後期基本計画から新たに位置づけた事業もあり、それについては 3 年の部分の評価することになるので承知願う。

【会 長】

ただいまの説明に質問はあるか。後期計画からの取組については 3 年間の評価となるという説明であった。

他にいかがか。

私からになるが、各部署へのヒアリングがどのような形で実施されるのか、再度ご説明いただきたい。

【事務局】

検証シートは各課から提出いただき、事務局が確認をする。ヒアリングとして、担当課が記載した事項について、なぜこのような記載がされたかをポイントとし、それについての補足を各課にしてもらう形で考えている。

【会 長】

それぞれの計画項目の担当部署に企画政策課が個別にヒアリングを行い、シートを適切なものにしていくというプロセスでよろしいか。

【事務局】

そのプロセスのとおりである。

【会 長】

他にいかがか。

先程いくつかご要望をいただいたが、それを踏まえて進捗状況の評価を進めていただきたい。基本的には原案通りに評価方法を進めてもよろしいか。

(異議なしの声)

【会 長】

では原案通りに進めていく。

それでは次に進めさせていただく。(3) 策定キャンペーンロゴの見直しについて事務局より説明をお願いします。

(3) 策定キャンペーンロゴの見直しについて

【事務局】

資料 3 4月28日の第1回審議会において、総合計画の策定プロセスを周知するためにキャンペーンロゴを作成し、推進していくことを報告したところである。その際の見解として、「これは「ミズナミ+ミライ」を掛け合わせたものだが、市の名前が切れてしまうということに違和感がある。また、縦に見ると「ナイ」とも読め、ネガティブに受け取られるのではないか。」との貴重なご意見をいただいた。その意見を一旦持ち帰り、事務局にて検討した。「ミズナ」と「ミライ」の文字を少しずらして縦に読めないようにする方法や配置を一変させるなど、いくつかの方法を考えたが、デザインとして現在の形のバランスが崩れてしまう

懸念があり、そこでまず、現在の形をなるべく生かす形で、一番上のアーチ部分に「瑞浪市」と明確にわかるよう加えた。そして「ミズナ」と「ミライ」の間に文字を入れることで縦読みの「ナイ」を分断した。見た目にもバランスが良くカタカナだけの「ミズナミライ」よりも総合計画の策定にあたり未来を考えると趣旨をよりわかりやすく伝えることができていると判断した。また、市民の方へも第 7 次総合計画を策定していることを視覚的に訴えたいと考え、缶バッジ、シール、のぼりなどグッズを使った周知も展開していくこととしており、審議会、市議会議員、職員などへ配布していく予定である。

前回意見収集ボードについてお伝えしたが、これも完成しており、今後各コミュニティセンターにも展開し、幅広く意見を取り入れるようにしていきたい。

以上、説明とさせていただきます。

【会 長】

前回の審議会のご指摘を踏まえ、デザイン性を損なわない修正案であったかと思う。市の取組もどの方もこのロゴで理解いただけるかと思う。この説明について質問はあるか。私からになるが、缶バッジは市民の皆さんお手元に届くものなのか、どのくらいの配布を考えているか。

【事務局】

缶バッジは 300 個作っており、審議会、市議会のメンバーの皆様に、庁内では部長・課長に配布している。費用面のこともあり、できる範囲でスタートした。缶バッジの他に 3 種類のシールを用意し、職員、市民の皆様を紹介していきたい。意見収集ボードは今日設置したが、今後もいくつか検討したい。第 7 次瑞浪市総合計画策定時のみのキャンペーンロゴと考えており、意見があればお願いしたい。

【会 長】

予算の範囲内でこの取組が市民に周知できればと思う。
他に質問や意見はいかがか。

【委 員】

缶バッジは「みんなでつくる瑞浪市 第 7 次瑞浪市総合計画策定中!!」全部を入れて 1 つのロゴとして伝わるメッセージであった方が良かったように思う。

【事務局】

検討の中で原案を作成した際、文字を全て入れることで全体が小さくなってしまい全部の文言を入れることはやめ、身に着けることで目を引くことに重点を置いたものとした。

【会 長】

文字がしっかりと読めるかどうかポイントとなり、試行錯誤の結果ということでよろしくお願ひしたい。

【事務局】

大きさについては気軽に身に着けられる、手軽にという点を重視した。

【会 長】

普段着ではなく仕事着にも比較的つけやすい大きさととの考えの結果この大きさになったと推測できる。

他にいかがか。それでは、事務局の原案通りで周知・活用いただければと思う。

続いて（４）ビジョンブックの作成について事務局より説明をお願いする。

（４）ビジョンブックの作成について

【事務局】

資料 4 総合計画は、「基本構想」と「基本計画」からなることはお伝えしたが、最終的な冊子の作り方はいろいろな方法があり、ここでイメージをするため取り上げさせていただく。第 6 次瑞浪市総合計画では、「基本構想」と「基本計画」は 1 つの冊子として位置づけられており、全体版と概要版の 2 種類の冊子を作成した。第 7 次瑞浪市総合計画では、総合計画というものの認知度が低いことに鑑みて、基本構想を「ビジョンブック」という形でビジュアル・デザイン性の高い冊子として作成し、将来像やまちづくりの方向性といった「ビジョン」を分かりやすく、市民の皆様に伝えていきたいと考えている。つまり、「基本構想」で 1 冊、「基本計画」で 1 冊という 2 冊の構成にするということになる。

このビジョンブックについては、フルカラーで 24 ページ程度のものを考えている。印刷部数については策定後の配布などの必要冊数を想定しながら、今後検討していきたいと考えている。ビジョンブックのイメージについては、ビジュアルに訴える形の総合計画を策定している市町村が多くあり、参考として示している。

以上、説明とさせていただきます。

【会 長】

県内市町村、特に美濃加茂市は、一新されて見やすいものとなっている。どの立場の方でも総合計画を理解しやすいものを提供することに大きな意義があると思う。文字の羅列で終わるのではなく、市民の方が手に取って見やすいものを作るかは、しっかりと計画を理解していただくために重要な方法であると思う。ご質問やご意見はいかがか。

【委 員】

ビジョンブックの作成に関連して、PTAの保護者で関心が高い自治体は明石市で、市政

の運営の仕方が子育て・教育・福祉に特化したまちづくりという部分である。子どもに特化した施策を進めることでここ 10 年間人口や出生率が増加し、市内の商業施設の税収も上がるなどの資料もネットで拝見している。結果が出ている事例を会議で紹介してもらい、取り入れることのできる部分は検討、参考にしていただければと思う。

【事務局】

明石市の事例を紹介していただき、今後我々も収集していきたいと思う。ある程度収集しており、その事例も紹介しながら進めていけたらと思う。

【会 長】

案が出た時点で皆様からのご意見、ご要望をいただければと思う。

美濃加茂市の事例として、市やまちの取組を絵本仕立てにした形で子どもにも読みやすくする、これもビジョンブックのあり方であると思う。

他に質問、要望はいかがか。ご説明いただいたように、デザイン性の高い冊子を作っただけであればと思う。事務局の原案通り進めていきたいと思う。

議事次第は以上となるが全体を通して質問等はいかがか。

【委 員】

ビジョンブックの作成について、原案についてこの会議で承認となるのか、またはビジョンブックの完成までとなるのか、作成のプロセスについてどちらの形になるのか。

【事務局】

今後審議会を通して基本構想、基本計画の原案を示し、その中でビジョンブックの形についても説明し、ご意見をいただきながら進めたいと思う。

【会 長】

プロセスについては皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと思う。

全体を通して他に質問等はあるか。大変多くのご意見、ご質問をいただき感謝する。これをもって第 2 回瑞浪市総合計画審議会の議事を終了する。進行を事務局にお返りする。

【事務局】

今回第 2 回目の審議会ということで、第 1 回目では方針を示し、今日は具体的に評価の方法について説明させていただいた。第 3 回以降は、第 6 次総合計画の評価をするということと重要な局面に入っていく。皆様それぞれのお立場から意見をいただければありがたいと思う。それでは、3. その他について事務局から説明させていただく。

3. その他

【事務局】

本日欠席の民生委員・児童委員から選出されている井貝委員より事前に意見をいただいている。内容を紹介させていただく。

民生委員の活動の中で独居高齢者の暮らしの困りごとについてよく聞く。その中で市内循環バスの使い勝手が悪くなったこと、そのために買い物に出かけることが大変になり、90歳を超えた方が生協に加入された。また移動販売でもなかなか思ったものが手に入らないが、ここまで来てもらっており贅沢を言えない、と不満を我慢している様子も伺える。高齢者が地域で元気に暮らせるまち、の実感はなかなか持っていない状況である。第6次瑞浪市総合計画の目標指標の高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと思ふ市民の割合が平成30根年に63.3%という数値が出ているが、実際の高齢者の暮らしの実感からは乖離しているように思われる。各種アンケート調査では民生委員の声の反映は難しいと思われる。幅広い階層の市民の声を聞くためには、きめ細かい対応が必要である。平成30年の市民アンケート調査でも35.7%と低い回収率であった。インターネット環境もない、地域の老人クラブ等にも参加していない、出かけるにもタクシーを使って、という人たちの声を聞く場所を今回の策定の際には用意してもらいたい。実際に独居高齢者や幼児を抱えている方、介護の現場で働いている方たちからも暮らしで困っていることや気が付いたことを聞く場を設けてもらいたい、とのご意見をいただいている。

これについて事務局としては、各課において高齢者福祉計画、子ども・子育て支援事業計画、障害者計画等それぞれの分野で計画を策定している。その計画に基づき施策を展開しており、計画期間が終了するタイミングでアンケート調査を実施している。対象世代のニーズを反映させ、今の施策が成り立っている。第7次瑞浪市総合計画の策定にあたり高齢者や子育て世帯に意見徴収の場を設けてはいないが、それぞれの分野の団体と市長と語る会という形では可能である。また、意見収集ボードや市政直行便等のフォームを利用して随時意見を伺う機会は設けており、このような形で意見を聞かせていただきたいと思う。

以上、井貝委員からのご意見の紹介とさせていただきます。

【事務局】

策定方針の中でも、市民の意見を多く聞く機会を設け、第7次瑞浪市総合計画に反映していきたいということで現在の取組を紹介する。6月15日から始まっている地域懇談会 市長と語る会、高校生・大学生・麗澤瑞浪に限っては中学生を含めた学生ワークショップを開催している。また地域ごとの課題や未来に向けてのまちづくりワークショップを予定している。若者が所属しているPTA連合会などの団体の方と意見交換をしていきたいと思っている。地域懇談会に加え、市民参画の市民アンケートなどもやっていきたいと思っている。結果については審議会の皆様にも報告をしていく。

ここまででお気づきの点やご意見があればお願いしたい。

【委員】

高齢者の方のお話を聞かせていただき、私どもも子育ての現役世代の瑞浪市在住の保護者の方にいろいろなアンケートを今年実施している。市長と語る会の要望書でも示したが、市内の学童クラブの運営が子どもの人数が非常に少ない地域では難しくなっている。子どもの人数が多い地区であれば比較的運営が円滑に行われるが、人数が少ないところであれば利用料が高くなったり、子どもを預ける施設がない地区もあり、厳しい状況であることを実感している。総合計画の会議の中でもそういった点を検討いただきたい。10年先でなく、直近の課題として捉えて計画の策定をお願いしたい。

【事務局】

第 6 次瑞浪市総合計画の課題が浮き彫りになったものは早急に対応し、第 7 次瑞浪市総合計画に活かしていきたいと思う。

それでは、次回は 8 月頃を予定しており、日程は改めて調整させていただく。

最後に水野副会長より一言お願いする。

【副会長】

意見収集ボードに子どもが住みよいまちにしてほしい、女性が働きやすいまちにしてほしいと意見があった。地域懇談会は参加者はほぼ同じメンバーで、女性や若者の参加が少ない。ワークショップを各地区で開いてもらい、若い意見や女性の意見を集約した形の第 7 次瑞浪市総合計画にしたいと考えている。

【事務局】

今のご発言についての鋭意努力を進める。

それではこれをもって第 2 回瑞浪市総合計画審議회를閉会とさせていただきます。

以上